

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105180
法人名	株式会社ヘルスネット徳洲会
事業所名	グループホーム山田の里
所在地	鹿児島市山田町44-3 (電話) 099-264-0850
自己評価作成日	2023年11月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和6年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・山田の里は、閑静な住宅街の中にあり、目の前に「現金問屋あけぼの」などがあり食材や日用品の購入などを行っている。又、歩いて数分の所に「山田郵便局」「中山小学校」「かめざわ整形外科」等があり転倒時など受診を行っている。

・毎月施設便り(山田の里便り)にて、その月で行われたイベント・行事など本人さんが写ってる写真を、多く載せご家族様にご利用様の近況をわかりやすく、見て頂ける様、専門用語をなるべく使わず、工夫をしております。又、日々の健康チェック、毎日のバイタル(血圧・脈・体温・SP02)、食事・水分量、排泄の状況、月1回の体重測定の数値など記録した健康チェック表をコピーし施設のお便りと一緒に送付しております。

・職員のスキルアップの為、外部研修を積極的に取り入れ本人の受けた希望などになに配慮し、勤務扱いで、受講料は施設負担と無理なく取り組める様、行っております。

・コロナ禍ではあるが、面会などガラス越しにて実施しており、外出も事前に連絡頂ければ許可しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、閑静な鹿児島市山田地区の一角に平成18年に開設しており、2階建ての各階に1ユニットずつ設置されている。周辺にはコンビニやショッピングセンター、多種の商業施設、中山小学校、個人住宅、医療機関等があり利便性に恵まれ、また、幹線道路から一筋入っているため気になるような騒音は無く四季を感じながら平穏に暮らせる環境である。

協力医療機関とは密に連携して感染予防や疾病の早期治療に努め、定期的な訪問診療や家族と連携しながら他科受診に取り組み24時間医療連携の体制も整えて適切な医療を受けられている。また週1回看護師の訪問により健康チェックや衛生、感染予防等の助言が得られており各利用者の「健康観察記録」は毎月発行の「山田の里だより」と共に家族に送付して共有しており、利用者や家族の信頼と安心に繋がっている。

管理者及び職員は、ホームの理念を玄関や事務室等に掲示し、申し送り時の唱和や振り返り、意見交換を日常的に行って認識を共有している。利用者の思いを丁寧に汲み取り残存能力や自己決定を尊重して、その人らしい安らぎと生きがいのある日々となるよう努めている。利用者や家族からの意見や要望等にも全体会議やユニット会議等で検討して改善に努め、より良い生活への支援に取り組んでおり、本評価に伴う家族アンケートからも信頼度の高さが窺える。

管理者及び職員は家族や地域との交流を大切に取り組んできており、家族や友人との面会や周辺の散歩、訪問美容、ドライブによるフレスポ運動公園での季節の花見、家族との外出、一時帰宅、墓参、法事への出席等に努めている。また、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアの相談や施設見学等にも丁寧に対応し、管理者は見守りメイトの業務も担う等の交流が図られている。感染状況を把握しながら、買い物や外泊の再開など家族や地域との交流の機会を増やしたい意向である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の唱和を申し送りなどを活用し、常に、念頭に入れ共有を図れる様、取り組みを行っている。	ホームの理念を、目に付きやすい玄関や事務室に掲示し申し送り時に唱和し、パンフレットにも記載して周知を図っている。日頃の業務の中や毎月の全体会議等でケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿って「利用者が家族や地域と関わりながらその人らしい暮らしへの支援」に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍の為、感染防止の観点から、地域とのつながりが取りにくくなっている。天気の良い日は職員同行の下、散策したり、花見、コスモス見学など季節感を感じて頂いている。	コロナ禍により制限はあるが、家族や友人との面会や通院、周辺の散歩時の挨拶、訪問美容、近くの公園やプレスポ運動公園での花見（桜や秋桜他）等に取り組み、また、家族との外出や一時帰宅、墓参等を支援しており、管理者は見守りメイトとして地域の高齢者の見守りも担っている。自治会に加入しており、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアに関する相談や施設見学等にも丁寧な対応に努めている。利用者の買い物や外泊等は自粛中であるが状況を見ながら再開したい意向である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	町内会に入会し地域の一人として自覚を持ち運営に当たっている。管理者は、見守りメイトの一人として、中山校区、桜ヶ丘校区の高齢者の見守りなどお手伝いを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	主な活動の実施状況、予定、利用者の様子等を報告し、又出席者からの質問、要望等について協議を行いより良いサービスが提供出来る様に取り組んでいます。	コロナ禍により書面会議が続いていたが、令和4年11月以降は利用者や家族、民生委員、市地域包括支援センター等が出席して一階のプロアでの会議を定期的開催している。ホームの現況や行事、ヒヤリハットノートを活用しての報告や協議を行ない、委員からも地域の情報や感染症に関する意見が活発に出されている。職員は内容を全体会議で共有して業務やサービスの向上を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	分からない事や、不明な事など、訪問したり、電話連絡にて、良好な関係性が構築出来る様、取り組みを行っている。生活保護の利用者様も在籍してるので担当の方と密に連携を図り情報の共有を行っている	市役所本所や谷山支所の窓口に出向いたり電話、メール等で介護保険の更新や各種制度、感染症対応等の報告や確認に努め、生活保護受給中の利用者の処遇に関する協議を担当ケースワーカーと密に行うなど日頃から協力関係を築いている。市からの情報の把握に努め運営やサービスの向上に繋いでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会を中心に、全体会議などを通してチームとして、拘束が心身に与える影響など3原則に照らし合わせ、原則拘束をしない施設作りを進めている。現在、拘束を行っている利用者はおりません。	身体拘束適正化を図る指針を整備し、身体拘束や高齢者虐待の研修の実施や日常的にケアの振り返りや意見交換等で認識を共有している。利用者の尊厳や意向を尊重したケアに努め、職員のスピーチロックや不適切なケアにはその都度助言する等日頃から改善を図り、また、全体会議でも毎月確認しており、センサーの使用（6人）についてはプランに反映させ、家族の了解も得ている。成年後見制度と日常生活自立支援事業を各1人の利用者が活用中である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修等を有効活用し、研修参加者が全体会議にて研修で学んで来た事などを研修報告と言う形で他のスタッフに情報・知識の共有を図り認識を高め虐待を起こさせない、見過ごさせない様、注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、責任者を中心に外部研修に参加し、全体会議にて研修の報告を行い参加出来なかった職員に対し、知識、情報の共有を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が契約書を家族様と確認しながら説明しなるべく、専門用語を控え簡易な言葉で分からない事や、疑問に思っていることを相手のペースに合わせ理解や納得が頂ける様、対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内にご意見箱を設置させて頂いて、施設の運営、サービスに反映出来る様、取り組みを行っています。月1回の全体会議を開催し職員と忌憚なく話し合える機会を設け、職員からの意見や提案を聴き業務に反映させ、働きやすい職場作りを目指しております。	日頃から利用者や家族とは気軽に話せる関係作りに努めている。利用者の思いは日常の会話や表情、仕草等で、また、家族の要望や意見は面会や電話、手紙、意見箱で、また、写真やコメントを記載した「山田の里だより」や食事や排泄の状況、健康チェックの結果等を記入した「健康観察記録」の送付で近況を伝えながら把握している。出された意見等は全体会議やフロア会議等で協議してサービスの向上を図っており、結果等は利用者や家族にも報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議などを活用し職員から幅広く意見、提案等を求め参加者全員で協議し、より良いサービスをご利用者様に提供出来るように取り組みを行っています	管理者及び職員は日頃からコミュニケーションに努め協力と信頼のある関係を築いており、業務の中や毎月の全体会議、フロア会議で意見や要望等を出し合って熱心に協議し、また、個人面談ではプライベートな相談も出されており、必要に応じて法人本部とも協議しながら改善に努めている。ケアへの助言や研修の実施、休憩時間の確保等に努め、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情にも配慮するなど働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。外部研修受講等に要する経費の助成制度が整備され職員のモチベーションに繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社の担当者が管理者と密に連携をとり、頻繁に施設に来られ、問題となる事、待遇面などを話し合いより良い職場作り、働きやすさを追及して。職員の高齢化にも配慮し、フォロー体制、連続勤務の見直しなどを行い体調面にも配慮した取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個人より受けた研修等の意向を聞き、又、管理者、主任、副主任と相談しながら、その個人に足りない、スキルアップの為に必要とされる研修を総合的に判断し、研修を勤務扱いとし受講料も施設負担にて実施して。又コロナ禍の中、感染対策の為、オンライン研修での参加も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入しており勉強会、親睦会などに参加し相談や情報交換などを行い交流を図っている。管轄の地域包括主催の施設交流会などにもオンラインにて参加、他施設との情報交換や取り組みなどを意見交換している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始までに生活歴、ADLなどのその方の必要となる情報を事前に職員に文書にて提示・説明。入居者様とコミュニケーションがスムーズにとれ、良好な関係性が構築出来る様、取り組みを行っている。利用者様の要望に職員が対応できるよう、記録、申し送りなどで情報の共有を図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の希望がありましたら、施設をまず、見学に来て頂き、雰囲気、施設の方針、不安に思っている事やご要望などを丁寧に聞きし問題なくご入居出来るように関係づくりに注力しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様、ご家族様のご意向、ご要望、不安に思っている事などを真摯にお聞きしより良いサービスにつながるように務めて居ります。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩として尊敬の念をもって接する事が大切である。ご利用者様の人生経験で得た貴重な財産を日常の関りを通して自然と学び支え合え、ご利用者様が、不安な気持ちを抱くことなく安心した気持ちで生活出来るような関係性を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族のお気持ちに寄り添い、ご意向をお聞きしながら、ご利用者様と良好な関係が築き上げられる様、努めている。面会、外出などは、コロナ禍に関わらず、ご本人の体調不良時以外、時間、外出先等ご家族様の意向に寄り添い対応しております。又、毎月の施設便りにてご本人様の写真を多用し、ご家族様が安心できるよう取り組んで居ります		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍ではあるが、面会、外出を行う事でご本人の精神的な安らぎが、もたらせると考えるので要望があれば許可をしております。今までの関係性が途切れることなく継続出来るよう、ご本人様が、連絡を取りたいと話されれば都度、対応し不安な気持ちの解消を図っています。	コロナ感染症が5類に移行したこともあり、家族や友人との面会や周辺の散歩、ドライブによる季節の花見、家族との外出や墓参、法事への出席等に積極的に取り組んでいる。家族には毎月「山田の里だより」や「健康観察記録」の送付で利用者の状況を伝え、電話や手紙の取り次ぎにも努めている。ホームによる外食や外泊、買い物は自粛中であるが、今後は感染状況を確認しながら馴染みの人や場との関わりを徐々に増やしたい意向である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や状況などを加味し、周りのご利用者様との関係性なども考慮し他のご利用者様と気軽に会話されたり親しい関係性が築ける様、テーブル配置など環境整備を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後、生前のホームでの写真などをお渡しして、思い出をふりかえったり、懐かしんだりして故人を忍んでおります。又、ご家族様にお会いした時は、こちらから積極的に声掛け、その後の様子や困った事、悩み事、相談などを伺っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様との何気ない会話や気持ちの向う中で、ご本人のご意向を把握し、出来る限りご本人の気持ちに寄り添えるように努めている。食べたい物や、飲みたいもの等、ご希望に添えるように努め、必要な物品があれば、家族様、施設にて購入等行っています。	難聴や重度化によりコミュニケーションが難しい利用者もいるが、日頃の関わりの中での会話や仕草、独自のサイン等から思いを汲み取り、職員は全体会議や申し送り等で共有して、その人らしい安全で利用者主体の暮らしとなるよう家族にも確認しながら取り組んでいる。趣味（五目並べ、卓球、音楽やテレビの視聴他）や家事（お盆拭き、洗濯物たたみ、リビングや廊下のモップ掛け他）の取り組みも自己決定を尊重し体調や残存能力等に配慮しながら個別の支援にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族様、関係機関より情報の収集を行い、又、ご本人とのコミュニケーションなどからも様子をお聞きしております。施設での快適な暮らしに繋がる様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常のケアの関わりの中で、ご利用者様、お一人お一人の生活パターン、嗜好、残存能力等の把握に努め、規則に縛られる事無く自由度を高め、居心地の良い施設作りを目指しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意向を基に関りが、出来るよう日々の申し送りやカンファレンスで意見を出し合い反映している。	利用者や家族の意向を汲み取り、主治医の指示や3か月毎のモニタリング、カンファレンス時の職員の意見、日々の記録等を基に、習慣や趣味、楽しみ事等にも配慮した介護計画を作成している。原則6か月ごとに作成するが、利用者の状況変化時には実態に沿った計画に変更し、利用者や家族の理解を得ながらケアしている。実施状況を各種のチェック表や申し送り、介護日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常の様子や気づきなどを支援経過に入力し職員に情報の共有などが出来、又、モニタリング、更新時にプランに反映する事が出来るよう取り組みを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様に何か変わった事などが起きた場合、ご家族様に状態の報告をさせていただき、ご家族様と一緒に、主治医の指示を仰ぎながら問題の解決を図っています。ご利用者様が、外部の医療機関の受診が必要になった時、管理者対応にておこなって家族様の負担の軽減を図っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の中、現状、感染防止の観点から地域との交流、関係が保てなくなっている。ご利用者様には、出来る範囲にて、モップ掛け、洗濯物たたみなどをお願いし残存機能の維持を図っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者、ご家族様が希望すれば以前のかかりつけ医にて家族様対応にて受診は行えるが、現在、希望の方はいません。ご本人、ご家族様がご希望されれば、訪問歯科等往診にて対応しております。又、看取り時、主治医の変更等、ご家族様のご意向などを伺いながら対応しております。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、現在は意向に沿って全員が協力医療機関での治療を受けている。定期的な訪問診療（月2回）や通院が実施され、他科受診（眼科、皮膚科、整形外科他）は家族と連携しながら取り組んでいる。協力医療機関とは日常的に密な連携が図られ医療連携の体制も構築している。週1回看護師の訪問により健康チェックや保健・衛生等の助言指導も受けており、健康状態は家族にも密に報告して安心や信頼に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在、看護師の資格を持っている職員（アルバイト）が3名程おり、健康観察などをお願いしている。週1（毎週木）にて訪問看護の看護師が健康観察にて入居者全員の健康観察などを行い、アドバイス・助言などを行い、必要時、主治医に連絡を取り指示の下、受診などを行っています。又、訪問看護師とは、必要時、連絡が取れる体制が整備されております。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>定期的に入院先に連絡し病状、状態の把握に努めております。入院時前には、ご家族様の同意の下、ご本人の情報を関係者に提供し、施設での生活状況やADL等日常の様子なども合わせて文書にて提供しております。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時において重度化や終末期の説明を行い同意を得て文書にて署名・捺印を頂いている。当施設は看取りも行っている為、契約時に看取りの説明も同時に行い、看取りを希望すれば、主治医を交えご家族様、施設関係者等と今後の方針などを話し合いお互いに納得した上で方針を共有しチームで利用者様、ご家族様の意向を取り入れ支援に当たっている。</p>	<p>重度化や看取りの対応は指針を整備し、利用開始時に本人や家族に説明して事前意思確認書を貰っている。重度化した時点で再度家族の意向を聞き取り、主治医や看護師と連携してホームで可能な限りのケアをチーム体制で取り組むこととしているが最近は見取りの実施はない。管理者は看取りの外部研修をチームで受講し、全体会議で職員に報告してスキルアップや不安感の軽減に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応についてはマニュアルを作成し全体会議等を利用し周知を図っている。夜間の急変時は、夜勤者が救急要請を行い、救急車に同乗し状態・状況の説明、既往歴、飲み薬等を救急隊員に報告するなど実践しております</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防計画を作成し火災等を想定した訓練を年2回（内1回は夜間想定）消防署と連携しながら実施している。又、その都度誘導や自員配置など適正であったかどうか、振り返りを行い次の訓練に生かせるよう実施しております。</p>	<p>年2回（消防署の立ち合いは無い）夜間想定を含む火災や永田川氾濫による水害を想定した避難等の訓練を実施し、併せて災害時の通報や防火設備の取扱い等も研修しているが地域住民の参加は得られていない。日頃から連絡網や避難場所及び経路を確認しマスコミの災害情報を話題にする等、防災への認識の共有に努めている。災害発生時の飲料水や食料品、介護用品等はほぼ3日分備蓄している。BCPは法人本部が中心となって作成中で来年度から実施予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自分だったら、自分の家族・身内だという事を常に意識し、親しみの中にも尊敬や礼儀を欠かさず対応しております。排泄時、隠語などを使い他の方にもわからない様、プライバシー等に配慮しております。	人格の尊重やプライバシーの確保、個人情報の取扱いについては管理者が外部研修を受講後全体会議で職員に研修し、日常的にケアの振り返りや意見交換を行って認識を共有している。排泄や衣服の着脱時の支援は人格や羞恥心、習慣等に配慮した言葉やトーンに努め、居室への入室はノックや声掛けを励行するなどマナーに配慮し、自己決定を尊重したケアに取り組んでいる。情報紙等への掲載や居室入口の氏名の表示については利用者及び家族の意向を利用開始時に確認している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活に於いてご本人の思いや考えをお聴きし、ご本人のお気持ちに寄り添ったケアが行えるように取り組み、どうしたいか、どうされたいかをご本人と確認しながらケアを行っています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の生活リズムを大切にし、食事、入浴、休憩、就寝等、ご本人が望まれる様、施設の都合で決めていくのでは無く、あくまでも利用者にとって過ごしやすい、居心地の良い施設作りを心がけております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類など、ご本人が着たいものなどをご本人が自分で選んで頂けるように職員はお手伝いさせて頂いています。髪も2か月に1回、ご希望があれば、パーマ、髪染め等対応しております。男性のひげなども自分で出来ない方などは職員対応にて整容しております。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は職員がご利用者の嗜好などを考慮しながら、その方に合った食事形態にて提供しております。季節の行事食等、季節感を感じながら楽しく食に対して関心を持って頂けるように努めております。又、職員手作りのデザート、自家栽培の果物などもお出しし喜ばれております。	食事が利用者の何よりの楽しみであることを常に意識しながら調理しており、栄養バランス、嗜好、季節感、旬の食材等を考慮したメニューになっている。ミキサー食や刻み食など利用者に応じた形態に努め、行事食（おせち、敬老会他）や誕生会のケーキ、手作りのおやつ（芋菓子、ホットケーキ、ゼリー他）、頂いた果物（スイカや柿、ミカン）でのデザート、好みの飲み物等工夫している。利用者も調理の手伝いやお盆拭き等を一緒に行っており、食事や水分の摂取状況も利用者毎に把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご本人が食べやすい様に、一口大、刻み、ミキサー等に食事形態を個々に合わせ対応しております。水分も入居者の希望に応じてお茶だけではなく、本人が好きな飲みたい飲み物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きセットを準備し、ブラッシング出来る方は声掛け促しにて見守り実施しております。介助が必要な方はスタッフ対応にてサポートしております。毎週火曜歯科の往診があり、歯科医師、歯科衛生士等よりアドバイス、助言、指示を受け個々の口腔ケアに生かしております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様毎の排泄表を作成し、排泄パターンの把握が出来、排泄パターンに応じ声掛け誘導を行い、羞恥心等に配慮しております。	利用者毎の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導等の支援で昼間は出来るだけトイレで排泄している。夜間のみポータブルトイレ（1人）や布パンツにパットを着用するなど身体の状態や習慣等に配慮し介護用品やケアの方法をプランに反映させて改善に取り組んでおり、介護用品の消費量の減少などの成果が見られている。食事や水分、手作りヨーグルトの摂取や運動量に配慮して自然排便に努めているが、状況によっては主治医の指導で緩下剤等を服用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの良い食事の提供を工夫しながら取り組んでいる。毎日、朝食時にヨーグルトを提供しお腹の調子を整えている。排便困難な方には、下剤の調整を主治医の指示の下、取り行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週に2回。但し、便汚染など必要性があれば都度対応しております。ご本人の体調などに配慮しながら、曜日、時間の変更など臨機応変対応しております。	個浴での午前中入浴を基本週2回支援しているが、状況によってはシャワー浴や清拭等でも保清している。入浴剤の使用は無く、順番や温度、時間、好みのシャンプー、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応している。入浴をためらう利用者には時間や介助者の変更、声かけ等を工夫し、清拭や足湯への変更など利用者の意向を汲み取りながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の生活リズムを大事にしつつ、お部屋の温度設定など過ごしやすい様、ご本人様に確認しながら快適にお過ごし頂ける様に取り組みを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時、声出しダブル確認にて飲み忘れ等、防止しております。薬の変更、追加など副作用などに注意しながら様子観察行い、少しでも、異常が見られる場合、主治医、薬剤師と連携を密に取りながら様子観察を行っております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、モップ掛け、床掃除など本人の残存能力を生かし日常で喜び、満足感、達成感が得られる様、工夫しております。季節の移ろいが感じられる様、花見、コスモス見学など外出をして気分転換を図っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの影響で自粛の傾向であるが、天気の良い日は職員付き添いの下、近場を散策したり、家族対応の中、お墓参りなど柔軟に対応しており、心の安らぎを得ております。	利用者の健康状態や天候に配慮し感染予防に努めながら意向に沿って周辺の散歩や通院、ドライブによる桜やコスモスの花見、家族との通院や墓参り、法事への参加等を支援している。行事や外出も十分には実施できない状況が続いているため室内での軽い体操やゲーム、季節に合った作品の作成、昔の流行歌や映像を楽しむなど、レクリエーションも工夫して気分転換を図っている。周辺の感染状況を把握しながら意向に沿って外出の機会を増やす計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭トラブル防止の為、家族様、管理にて対応している。必要時、買いたい、欲しいものがあれば、家族様に話し、職員が代行して買い物に行ったりして満足感を得ている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人が電話を掛けたいと希望されれば、電話を掛けたり、取次ぎをしたり、毎月、施設便りにて健康観察記録（血圧・体温・排便・排尿・食事量等）、近況報告などをお送りさせて頂き日常生活の様子が分かる様、写真などを多用し理解を得ています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設に入る前に使われてた馴染みのある家具、写真、アルバム、思い出の品などを飾ったりし寛げる、リラックス出来る雰囲気作り環境整備を行っております。天気の良い日には、窓をオープンにし外気を取り入れ感染予防を図って居室を清潔に保っています。	リビングや廊下等の共有空間は、開放的で明るく余裕あるスペースが確保されており、テーブルや空気清浄機、テレビ、ソファ等が利便性や人間関係に配慮して設置されている。季節感のある利用者の作品や写真、活花、観葉植物等が随所に飾られ、台所からは調理の音や臭いも伝わり家庭的な雰囲気である。ホーム中央の中庭にはバナナやミカン、紫陽花等が植えられ、収穫したバナナはおやつとして全員で楽しんでいる。清掃や空調、整理整頓に努め不快な騒音等も無く、感染予防対策も徹底しており、利用者は四季を感じながら穏やかな日々を過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合ったご利用者様と楽しいひと時を過ごせる様、座席の配置等工夫を行いストレスを感じる事なく会話や交流などが持てる様に工夫を行っております。又、廊下の壁などに季節を感じ取れる様、折り紙などを取り入れ目で楽しめるなど喜びを感じて貰っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間（玄関、廊下、キッチン・トイレ等）が利用者様に取って不快や混乱を招く様な刺激（音・光色・広さ・温度等）がない様に配慮し、生活感、季節感を取り入れて過ごしやすく工夫を行っております	居室入口には戸惑うことのないように氏名が表示され、室内はフローリングに腰高窓で明るく余裕ある広さが確保されている。エアコン、ベッド、タンス、洗面台が備えられ、清掃や整理整頓を利用者の意向を確認しながら支援している。利用者の状況に応じてナースコールを設置し、利用者は愛用していたテレビや寝具、仏壇、家族写真等を持ち込み、自身の作品や頂いた物も飾るなど、その人らしい居心地良く過ごせる環境を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の表示を絵、イラストなどを使って大きく、見やすく、分かりやすく表示を行い、又、自分のお部屋の前には本人の写真を掲示し自分の部屋だと迷う事なく、可能な限り、自立した自由のある生活が送れる様に工夫をしております。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない